

東京湾パブリック・アクセス例

東京湾パブリック・アクセス例を2点示す。

PTメンバーが実査をし、参考資料から取りまとめたもので、記述レベルはキーワード中心となっているが、提供する情報のイメージを説明するための資料。

実際の情報提供にあっては、より具体的に分かり易い表現としていただきたい。

視点場及びルートポイントとも説明項目ごとに500字程度を想定している。

例示中のPはポイントである。

パブリック・アクセス例①(公園、海浜公園活用型) <猿島>

概要：東京湾では数の少ない島嶼とアクセスルート上に点在する、史跡、現状の施設等から東京湾の持つ多様性と魅力を味わうことができる。

ルート1 京浜急行横須賀中央駅～三笠棧橋(10分)

出発場所：京浜急行横須賀中央駅

P 三笠公園：メダカの学校歌碑

横須賀出身の茶木溪作詞 中田喜直作曲

幼子が散ったメダカを見て「待ってれば来るよ。ここはメダカの学校だから」がモチーフ)

D51型非常用給水塔—1人1日30×3日分 約100m³

東郷平八郎銅像—日露戦争時の連合艦隊司令長官

三笠記念館—日露戦争当時の旗艦

P 横須賀新港

自動車輸出専用岸壁

P 横須賀ポートマーケット

地場の魚介類と野菜の販売

到着地 三笠棧橋

ルート2 JR横須賀駅～うみかぜの道～三笠棧橋(30分)

出発場所：JR横須賀駅

P ヴェルニー公園

開港・維新期に横須賀製鉄所を指導したフランス人ヴェルニーを記念したフランス庭園式公園

- ・ヴェルニー記念館(国指定重要文化財造船用0,5tハンマーの展示)
- ・逸見波止場衛門(衛兵の詰所)
- ・ヴェルニー、小栗上野介忠順の胸像

P 海上自衛隊司令部：海上自衛隊横須賀総監部と艦船

P アメリカ海軍横須賀海軍施設と艦船

P Yokosuka軍港めぐり汐入ターミナル

P うみかぜの道：J R横須賀駅～観音崎までの10km

海に面したボードウォークは、海風を受け、景観も良い。

到着地 三笠棧橋

ルート3 三笠棧橋～猿島(10分 双胴船で公園入園料200円と渡船料1300円
中学生以下は半額)

P 双胴船：猿島往復の専用船。大災害時には神奈川県水難救援会により救助船になる

P 横須賀わかめ等の養殖地：流入河川と清浄な海水が育む名産猿島わかめの養殖地
本収穫前の1月初旬から1m未満の猿島わかめ「さるひめ」を収穫・販売。柔らかくしゃきしゃきした歯ごたえと磯の香が好評。
牡蠣も養殖されている。

視点場「猿島」：横須賀沖1,7km 東西約200m 南北約450m 標高約40m

周囲約1,6km 面積約55,000㎡(横浜球場の約4倍)

豊かな自然と歴史遺産が残る無人島

- ・手ぶらでBBQ(機材は全てレンタル、一部食材は現地調達)
- ・貴重な歴史遺産(旧軍の要塞遺跡、国史跡。兵舎、砲台、弾薬庫、トンネル、フランス積の赤レンガ擁壁)
- ・ガイドツアーで立ち入り禁止区域の見学が可能
- ・縄文式遺跡、日蓮上人史跡
- ・フィッシングと磯遊び
砂鉄の浜—海水浴場、
ビギナーの投げ釣り(カレイ、キス、メゴチ、
秋にはスズキ、イナダ、サバが回遊
ヨネノ根—大型の回遊魚—クロダイ、スズキ、イナダ、アイナメ
引き潮時には磯遊び、生物の観察が可能
オイモイ鼻—足場は良いが複雑な地形でアイナメ、カサゴ、メバル
- ・東京湾に出入する大型船を眺望
(コンテナ船、タンカー、LNG船、軍用船、遊漁船等)

危機回避：猿島で強い地震を感じたり、津波警報に接したら、丘に避難する。

ルート上の場合、避難場所又は高い建物に避難する。

パブリック・アクセス例②(人工島公園利用型) <城南島海浜公園>

概要：大規模な埋め立て事業により、形成された物流の実態が感得できる。羽田飛行場の至近であり、空の輸送の規模が実感できる。

ルート 京浜急行平和島～(循環バス)～城南島4丁目

*他にJR大森駅、京浜急行大森海岸駅発もある(同一循環バス)
東京モノレール流通センター(南口)もある。

出発場所：京浜急行平和島駅

P 東京湾野鳥公園：1960年代以降の埋め立て事業中に雨水がたまり、池ができ、野鳥が集まったのが起源。淡水池、潮入り池にシギ、チドリ等210種類以上の野鳥が観察できる。

ネイチャーセンターの地下1階のガタガタウオークで、干潟の生き物が観察できる。

P 大田市場：東京都中央卸売市場

敷地 386,000 m²、建物面積 276,519 平米の巨大施設

青果、水産、花卉

事前申込で見学可能

路線バスが、構内外周を回るので、スケールは実感できる。

P 南部スラッジプラント(汚泥処理施設)：芝浦と森ヶ崎水再生センターで発生した汚泥、他の焼却施設で発生した焼却灰の処理施設。

到着地 城南島4丁目

(参考)

大森海岸駅：京浜急行の駅名。1901年に「八幡駅」として開業。1933年(昭和8年)に改名。昭和30年代初頭まで隣を通る15号線(旧東海道)のそばまで海岸があったことによる。

大森貝塚：さらに内陸よりJR線路沿いにある。

近くまで海岸が迫っていたことの証拠(縄文海進)

視点場「城南海浜公園」

東京湾に面した東京都港湾局が管理する海上公園。

176,447 m²の敷地に、キャンプ場、スケボー広場、ドッグラン、広場が整備されている。人口海浜「つばさはま」は潮干狩りと水遊びができるが、遊泳と釣りは禁止されている。

なお、人工海浜以外の場所からの釣りは可能(ただし投げ釣りは禁止)

トイレ、ベンチ、売店は整備されている。

景観：東京タワー、スカイツリーが遠望できる。

東京湾、京浜運河の大型船を見ることができる。

特に、羽田空港C滑走路に着陸する飛行機は圧巻。誘導灯も至近。

京浜港東京区(東京港)信号所：水路を航行する船舶に対し交通整理のための信号を提供している。

羽田空港：誘導灯が望め、飛行機のスケールが実感できる。

危機回避：強い地震があったり、津波警報が出された場合は高い建物に避難する。

ルートは、物流拠点を縦断するため、大型トラック等の交通量が多いため、徒歩、自転車によるアクセスには適していない。